

Apple試験開発プロセス

開発フェーズ

Apple認定試験は、試験の有効性、信頼性、妥当性を確保するために、6つのフェーズで作成されます。

1. 問題作成

各分野の専門家が、優先すべき目的に従って試験問題を作成し、以下の基準に沿ってレビューと修正を行います。

- ・ 技術的に正確であること
- ・ 明確で、曖昧さがなく、妥当性があること
- ・ 特定の集団、サブグループ、文化に対する偏見がないこと
- ・ 誤解や混乱を招かないこと
- ・ 不明瞭な事柄や些末な事実ではなく、役立つ知識で構成されていること

2. アルファレビューと問題の修正

専門家たちが各設問の技術的な正確性を審査します。

3. ベータ試験

Appleが試験のベータテストを実施します。ベータ試験中は、受験者が設問についてコメントします。ベータ試験により、実際の試験環境における設問の品質を評価することができ、実際の試験には最善の内容のみが含まれるようにするのに役立ちます。

4. 問題の選択と最低合格点

精神測定学者がベータ試験の結果を分析して、実際の試験にどの質問を含めるかを決定します。この分析では、問題の難易度や信頼性など、さまざまな要素が加味されます。Appleは専門家たちの協力を得て、問題の技術的正確性を確認し、実際の試験に使用する問題を最終的に決定します。専門家たちの協力により、試験の最低合格点を決定します。最低合格点は、問題の難易度と、受験者が認定を受けるために最低限必要な成績をもとに決定されるため、その点数は試験によって異なる場合があります。

5. 公開

Pearson VUEによりApple認定試験が公開されます。

6. ライブ試験

認定試験は、オンラインプロクタリングソリューションであるOnVueを通じて実施されます。